

福島第一原子力発電所 1/2号機排気筒解体計画について(進捗報告)

2019年7月25日

The logo for TEPCO (Tokyo Electric Power Company) is displayed in red, bold, uppercase letters. It is positioned on the right side of the slide, above a horizontal red line that spans the width of the page.

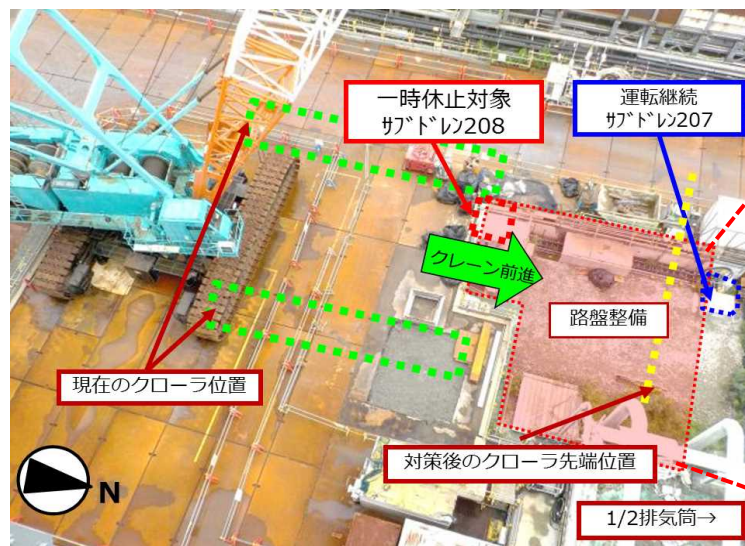
東京電力ホールディングス株式会社

1. 概要

- 1/2号機排気筒については、4月2日に福島第一原子力発電所構外での実証試験を完了し、4月13日、18日に、解体前調査として、筒身内部及び周辺の雰囲気線量測定やカメラによる内部状況の撮影を行った。
- 5月9日に解体工事に使用予定であったクレーンの修理が完了したことから、5月11日に解体装置が最頂部に設置可能か確認(以下、揚程確認とする)を行ったところ、計画時の吊り代※と実際の吊り代に差異があり、クレーンの吊り上げ可能高さを伸ばす必要があると判断した。
※クレーンのフックから排気筒頂部までの距離
- 吊り代の差異を踏まえ、6月5日からクレーン吊り上げ可能高さ確保対策のひとつとして路盤整備工事を実施。(7月10日完了)
- 整備を行った路盤上でクレーンの高さ確認を行い、解体装置を排気筒直上に設置可能であることを確認。(7月18日)
- 最終動作確認を7月22日から開始し、8月上旬より排気筒解体工事に着手する計画。
最終動作確認では、筒身解体装置及び鉄塔解体装置の動作確認や通信状態の確認、作業手順の確認等を行う。

2. 路盤整備作業

- 排気筒にクレーンを近づけて吊り上げ可能高さを確保するために、路盤整備作業を計画した。
- 7/10に路盤整備が完了し、計画位置にクレーンが設置可能であることを確認した。
- なお、サブドレン208は路盤整備に伴い7/8より一時運転を休止している。(8月末復旧予定)



<路盤整備前>



<路盤整備後>



① 碎石敷き込み



② 整地



③ 補強鋼材設置



④ 敷鉄板設置

3. クレーン高さ確認

- 7/18に、整備を行った路盤上でクレーンの揚程確認を実施し、1 / 2号排気筒直上に解体装置が設置可能であることを確認した。

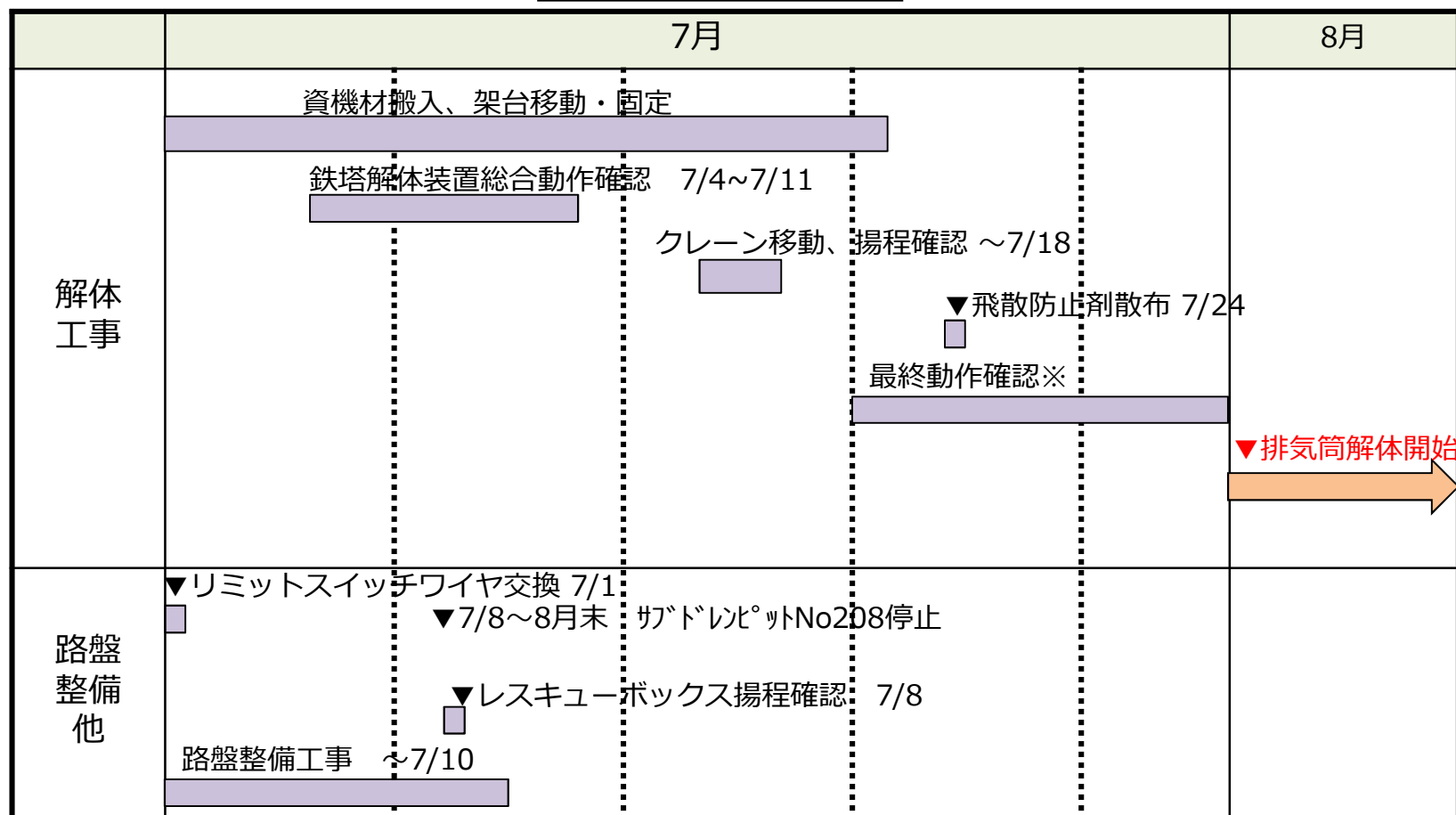


クレーン高さ確認の作業状況

4. 工程

- 7月22日より最終動作確認を行い，8月上旬より排気筒解体開始予定。
- 解体作業においては，周辺環境への影響を確認しながら，2019年度内の排気筒解体完了に向けて，安全最優先で作業を進めていく。

排気筒解体工事 工程表



※最終動作確認において、不具合等が確認された場合、排気筒解体開始が遅れる可能性あり